

学校体育と地域・社会体育との連携

～スポーツ大好きっ子育成活動～

福井県

鯖江市しんめい神明小学校

全校児童数495名

(男子266名 女子229名)

電話番号 0778 (51) 1110

実践内容

実施目的

- ①児童の体力向上や健康の保持増進を図るために、年間を通じて様々なスポーツを体験する機会を設ける。
- ②体を動かす喜びを味わう機会を増やすことで、スポーツ好きな児童を育成する。
- ③地域の外部指導者を依頼することで、地域の人々とのふれあいを深めるとともに、生涯スポーツの楽しさを体感する。

実施内容

1 様々なスポーツ体験

季節や行事に合わせて、陸上運動（5～7月・9～10月）、水泳運動（7月～夏季休業）ドッジボール（夏季休業）、ニュースポーツやボール運動（11月）、器械運動（12～2月）、なわ跳び運動（2月）を神明小学校校庭や体育館で行う。また、特別活動（クラブ活動）として地域の外部指導者によるグラウンドゴルフクラブを設定する。

2 参加児童

参加児童は種目の特性等に応じて、陸上運動は3～6年生、ドッジボール・ニュースポーツ・ボール運動・グラウンドゴルフは4～6年生、水泳・器械運動・なわ跳び運動については1～6年生から希望者を募集している。

3 取組の留意点

- (1) 放課後の活動が中心であるので、児童の帰宅時間や放課後のスポーツ少年団での活動をリサーチし、児童の実態を把握し下校時刻の設定や保護者の協力を得るようにする。
- (2) 校務分掌の保健体育部が中心となって企画し、体育主任が主となって、関係学年に協力を依頼して実施する。保健体育部では、種目ごとの取組方法や指導内容について効果的な活動のあり方を検討・立案する。
 - ①陸上運動・ボール運動・器械運動・なわ跳び運動は放課後に活動し、水泳は不得意な児童に対して夏季休業中に指導する。
 - ②ドッジボール・ニュースポーツは、地域の子ども会や鯖江北コミュニティスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）と連携して実施する。
 - ③グラウンドゴルフについては、地域のグラウンドゴルフ愛好会の方々にクラブ活動の時間に指導をお願いし、児童とともに活動していただいている。

実施上で工夫したこと

- ①より多くの児童に様々なスポーツを体験させようと、時期によって放課後の活動内容や時間、場所を工夫した。
- ②社会体育行事と連携し、各種大会に出場できるような指導体制を取り入れた。
- ③外部指導者を利用して学校体育と地域や社会体育団体との連携を図った。時間や場所の設定のみならず、児童の礼儀や学習のマナー、言葉遣い等の指導を徹底した。

主な成果

- ①陸上運動や器械運動、なわ跳び運動等の練習会に多くの児童が積極的に参加した。特に、各種大会に多数参加し、上位に入賞する児童が大勢現れた。水泳の練習会では、多くの児童がその泳力を向上させ、楽しく泳ぐことができた。
- ②地域の指導者にご協力いただいたり、高齢者の方と交流を深めたりする中で、学校の現状を理解してくださる方が増えた。それらの方々は児童の顔と名前を覚え、気軽に声をかけてくださるようになり、スポーツすることの楽しさを増幅させることにつながった。



陸上運動 放課後

ハードルを使ってトレーニング



陸上運動 夏季休業中

芝生の上でコーディネーショントレーニング

小学校



水泳教室 夏季休業中

25mを目指してみんなでチャレンジ



ボール運動(サッカー) 放課後

サッカー好きが集まってゲーム



ニュースポーツ 放課後①

地域の指導者とキンボール



ニュースポーツ 放課後②

地域の方といっしょにスナックゴルフ



ドッジボール 夏季休業中

町内子ども会対抗ドッジボール大会



なわ跳び運動 放課後

8の字回旋跳びに挑戦